

大祭司

5日目—エポデ

「同じように、わたしはあなたたちの老いる日まで／白髪になるまで、背負って行こう。わたしはあなたたちを造った。わたしが担い、背負い、救い出す。」イザヤ46：6

祈りの時間の進め方の提案

讚美の祈り

- 主よ、我々はあなたが誰であるかを讚美することから始めます。あなたは強く、忍耐強く、我々を救うことがお出来になります。
- 我々が困難の中にあっても、我々を持ち運んでくださることをあなたに讚美します。
- あなたが我々に永遠の平和と喜びを与えてくださることをあなたに感謝します。

罪の告白と罪への勝利を求める祈り

- 主よ、私たちが公に告白すべき罪と、個人的に告白すべき罪とを示してください。私たちはそれらの罪に対するあなたの勝利を求めます。
- あなたに持ち運んでいただくかわりに、自分自身の力で成功しようとした日々があったことをお赦してください。
- ヨハネの手紙1・1章9節にあるとおり、あなたがわたしを赦してくださることを感謝します。

嘆願と執り成しの祈り

- 主よ、私たちが弱い時に、どうぞ私たちを持ち運んでください。
- あなたの力によって、私たちの弱さを完全につくりかえてください（コリント2・12：9）
- 父よ、どうか我々が心を悩ませることがないようにお助け下さい（ヨハネ14：1）
- あなたがイザヤ41章10節で与えられた約束を信じる事が出来るように、わたしたちをお助けください。どうか私たちを強め、助け、正義の右の手で私たちをお支えください。
- どうかこのような困難な時代にあって、私たちの教会の青年たちや家族をあなたが持ち運んでください。
- 我々の周りにいるであろう、痛みの中にある人々をお示しください。そして彼らの困難を通して彼らをお導きください。
- 主よ、私たちの人生を完全にあなたに服従させる方法を教えてください。キリストにおいて私たちを一つにしてください。終わりの時の大なる叫びを世界に伝えるために、私たちを一つにしてください。

- 主よ、あなたは聖書の真理の素晴らしい理解によって私たちの教会を祝福してくださいました。私たちが、それを謙虚に、喜びを持って世界に分ち合うことが出来るようにさせてください。
- 父よ、世界中の小グループ、そして家の教会の働きを祝福してください。 さらに忠実なメンバーが立てられ、イエス様とその美しいご品性が、近隣の人々に証しされますように。
- 主よ、私たちの信仰を明快に、創造的に、聖書的な正しさをもって示す方法を教えてください。 イエス様の愛が、私たちが信じるすべての中核になることを祈りましょう。
- 主よ、私たちは7人（またはそれ以上）の人々のために個人的に祈っています。どうか 彼らの必要に気づき、彼らが聖霊の働きに心を開くことが出来ますように。

感謝の祈り

- 主よ、私たちはあなたに感謝します。「主に望みをおく人は新たな力を得／驚のように翼を張って上る。走っても弱ることなく、歩いても疲れない」（イザヤ 40：31）。
- 感謝します。「神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働くということを、わたしたちは知っています」（ローマ 8：28）。
- 私たちが、あなたの御心に従って祈るとき、応えてくださることを感謝します。

推奨する讚美歌

「いつくしみ深き」（希望の讚美歌 346 番）

「かいぬしわが主よ」（希望の讚美歌 339 番）

「わが主こそ」（希望の讚美歌 120 番）

エポデ

「同じように、わたしはあなたたちの老いる日まで／白髪になるまで、背負って行こう。わたしはあなたたちを造った。わたしが担い、背負い、救い出す」（イザヤ 46：4）。

大祭司がその肩でエポデを運んだように、私たちの大祭司は私たちの重荷を担い、試練の中にある私たちが力づけ、そして困難な状況においてさえ、私たちが彼を証しすることが出来るようにしてくださいます。

私たちの尊い救い主は、私たちが招き、彼に結びつけ、私たちの弱さを彼の力に、私たちの無知を彼の知恵に、無価値な私たちが彼の価値へと結びつけて下さいました。（*The Faith I Live By*, p. 96）

思い煩いは、何もかも神にお任せしなさい。神が、あなたがたのことを心にかけていてくださるからです（ペトロ 1・5：7）。

気落ちしている者に対して、信頼できる救済策がある。それは信仰と祈りと行いである。信仰と活動は、日毎に増大する確信と満足とを与える。あなたは不吉な予感に恐れを感じ、失望落胆に陥ろうとしているであろうか。一見絶望的で、最悪の事態にあっても恐れてはならない。神を信じよう。神はあなたの必要を知っておられる。神はすべての力を持っておられる。神の無限の愛とあわれみは、消耗することがない。神はその約束を

なし遂げられないのではないかと恐れてはならない。神は永遠の真理である。神は、神を愛する人々と結ばれた契約を変更なさない。そして神は、忠実なしもべたちが必要とするだけの能力をお与えになる。使徒パウロは、次のようにあかししている。「『わたしの恵みはあなたに対して十分である。わたしの力は弱いところに完全にあらわれる』。・・・だから、わたしはキリストのためならば、弱さと、侮辱と、危機と、迫害と、行き詰まりとに甘んじよう。なぜなら、わたしが弱い時にこそ、わたしは強いからである」（コリント2・12：9,10）（『国と指導者』上巻133～135ページ）。

神を愛し、仕える人々の力は、日毎に新たにされます。彼の理解は、彼らの奉仕に置かれ、彼らの目的を果たすことにおいて誤りを起こさせないでしょう。神の奉仕には落胆がありません。私たちの信仰は、我々に加えられる圧力に耐えさせます。神は、神のしもべたちに必要なすべての力を与えることができ、彼らにそれを与えることをいといません。神は、神に信頼を置く人々に最高の期待以上のことを実現されます。神は信じる人々が神に様々な必要を求めるといふ知恵を与えます（『教会への証し』8巻10, 11ページ）。

私たち自身では、キリストの宗教を実行することも手に入れることも出来ません。私たちの心は、何ものにも増して偽りに満ちています。しかし、魂の偉大な医師であるイエス・キリストは、私たち自身よりも私たちの心をよく読むことができ、罪からどのように清められるのかを私たちに教えてくださいました。

「わたしの恵みはあなたに十分である。」と彼は自らの無能さを嘆く人々に言われます。「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう」。

すべての重荷は、それが我々の肩に負わされる前に、「わたしに従って来なさい」と言われる方によってかえりみられています。

試みと誘惑にあったすべての魂に、キリストは言われます。「私はあなたがクリスチャンライフの義務を果たすことが出来るように、あなたを強めることが出来る」と。

私たちの信仰の創始者であり、完成者であるイエスを見ることによって、私たちはそのみ顔の光を捉え、彼の心かたちを反映し、キリスト・イエスの男女の完全な姿にまで成長します。

私たちの宗教は魅力的になっていくでしょう。なぜなら、それはキリストの義の香りを放つからです。

私たちは幸せになるでしょう。私たちの霊的な肉と飲み物は、私たちの義と平和と喜びとなるでしょう。（『レビューアンドヘラルド』1897年5月4日11）

神と正しい関係にあり、その魂が創造主と調和していることは素晴らしいことです。

罪の影響力のただ中で、その見せかけ上の偽りによって魂から服従が奪われるとき、私たちが助けるために天使が送られるでしょう。

しかし、もしも私たちが自ら誘惑を招くならば、私たちが罪に支配されないようにするための神からの助けを受けることができません。

三人の立派な信仰者たちは、炎の最中に彼らと共に歩まれたイエスによって、燃え盛る炉の炎に耐えることができました。

もしも彼ら自身で火の中を歩いていたら、彼らは燃え尽きていたでしょう。

私たちもそれと同じようになるでしょう。もしも私たちが意図的に誘惑に陥るのでなければ、誘惑にあうとき、神が私たちを支えてくださるでしょう。（『サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1897年9月2日11』）

主は人を立ち上がらせ、その御霊を彼らの上に置き、なすべき働きのために彼らを備えさせるでしょう。

真実の神ご自身が、新たな、生きた証を宣べ伝える資格を彼らにお与えになるでしょう。

彼らは神の証人になるでしょう。それは自らの働きかけからは起こりません。彼らは、真理を証しするために志願するように、神の霊によって駆り立てられるでしょう。

神は彼らを支えられるでしょう。神は彼らの必要をご覧になり、年ごとにご自分の計画を導かれます。

神は、人が当てもなく、さ迷うような選びをすることをお赦しにならないでしょう。もし人が人になるならば、神は彼らを通してお働きになるでしょう。（『レビュー・アンド・ヘラルド』1897年5月27日11）